

「在宅・慢性期領域パッケージ」のパッケージ研修追加

## 令和 8 年度(第 4 期生)特定行為研修生募集

### 看護師特定行為研修募集要項

Nanbu Medical Center & Children's Medical Center



沖縄県立南部医療センター・こども医療センター



## 1 沖縄県立病院事業基本理念

県立病院は沖縄県の基幹病院、地域の中核病院として、救急医療、小児・周産期医療、離島・へき地医療、精神医療等の政策医療を提供するとともに、地域医療の確保に努める。

## 2 県立病院の役割および医療機能（基本方向）

- 1) 民間医療機関で対応の困難な医療の提供（高度医療、特殊医療、不採算医療）
- 2) 地域特性、医療機能をふまえた医療の提供（地域医療の確保）
- 3) 公的医療機関として担う必要がある医療等の提供（法令等の位置づけがある医療、先導的医療）
- 4) その他（教育・研修機能、保健行政的医療の支援）

## 3 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター基本理念



こどもからおとなまで

「大切な命を守り、県民に貢献する」病院

診療の特徴として、胎児期から成人までを対象とし、さまざまな疾患に対応する事が可能な高度で多機能な病院です。

## 4 看護師特定行為研修の理念

急性期及び地域（在宅）医療の現場において、「大切な命を守り、県民に貢献する」理念のもと、個人の尊厳への深い配慮と高い倫理性をもち、高度な臨床実践能力を発揮できる看護師を育成します。また、チーム医療において期待される役割を推進し、患者・家族の意思に対応しながら地域医療に貢献できる人材を育成します。

## 5 特定行為研修の趣旨

高齢化の進展や慢性疾患の増加により、急性期から在宅まで切れ目なく質の高い医療を提供することが求められています。県民に期待される役割を担い、高度な臨床実践能力を発揮するためには、地域とつながり、多職種が協力して医療を届ける体制が必要とされます。

看護職は患者に最も近い立場で状態を観察し、変化に応じて適切に判断・対応する役割を担っています。特定行為研修は、その判断力と実践力を高め、急性期医療にとどまらず在宅・地域医療でも力を発揮できる看護師を育成することを目的としています。

本研修を通じて、看護師の臨床能力をさらに向上させ、急性期から在宅をつなぐ安全で継続性のある医療提供体制の構築に寄与いたします。

## 6 特定行為研修の目的・目標

### 【目的】

急性期及び地域医療の現場において、特定行為を実践する看護師としての責務を自覚しながら、高度な臨床実践能力を発揮し、チーム医療のキーパーソンとしての役割を担う看護師を育成する。

### 【目標】

- (1) 多様な臨床場面において、特定行為実践に必要な臨床推論力と病態判断力を備える
- (2) 適切なタイミングに倫理的かつ安全に看護実践を提供できる能力を養う
- (3) 他職種や関連機関の専門性を尊重し、チームを円滑に機能させ問題解決につなげる能力を養う
- (4) 地域（在宅若しくは施設等）で療養する患者・家族の希望を尊重し、多職種連携の下、効率的・効果的な医療を提供するための能力を養う

### 【共通科目の到達目標】

- (1) 多様な臨床場面において、病態の変化や疾患を包括的に捉え、今後の展開を予測しながらアセスメントする能力を身につける
- (2) 必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的能力を身につける
- (3) 患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける
- (4) 問題解決に向けて他職種と効果的に協働する力を身につける
- (5) 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける

### 【区分別科目の到達目標】

- (1) 多様な臨床場面において、各区分の特定行為を行うための知識・技術及び態度の基礎的能力を身につける
- (2) 患者の状態の変化に対応できる予測的判断と実践能力を養う
- (3) 医師の指示の下、手順書により身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し実施の判断、実施、報告の一連の流れを適切に行えるようになる
- (4) 特定行為実施における過程で得た情報やアセスメントは、看護師や他職種と共有し、ケアの継続をはかる事ができる
- (5) 手順書の案を作成し、自身の臨床看護実践能力現場、患者に応じて再評価、最適化できる能力を養う

## 7 当院における特定行為研修の特色

共通科目、区分別科目についてはeラーニングでの学習を主としています。また、集合教育による演習や実習を取り入れています。研修生同士の相互学習や指導者との対話を通して学習を深め、図書室やシミュレーターを活用した学習ができる環境を整えています。

8 対象特定行為と募集人員 総定員 24 名（共通科目 19 名）

【領域別パッケージ研修】

パッケージ名	特定行為区分	特定行為	定員
①術中麻酔 管理領域	呼吸器(気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2 名
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
		人工呼吸器からの離脱	
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
		橈骨動脈ラインの確保	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液の補正	
	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
②集中治療 領域	呼吸器(気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	6 名
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
		人工呼吸器からの離脱	
	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	
	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
		橈骨動脈ラインの確保	
	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
		持続点滴中のナトリウム、カルウム、又はクロールの投与量の調整	
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	

パッケージ名	特定行為区分	特定行為	定員
③在宅・慢性期領域	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレ交換	2名
	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	
	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	

【区分研修】

特定行為区分	特定行為	定員
①呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	3名
②ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	3名
	膀胱ろうカテーテルの交換	
③創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	3名
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	
④栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	
	脱水症状に対する輸液による補正	
⑤動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	5名
	橈骨動脈ラインの確保	

※共通科目に関しては定員 19 名

共通科目履修免除で区分別のみ受講を共通科目と合わせて総定員 24 名とする

※特定行為 2 区分まで選択可能。

ただし、③創傷管理関連 + ④栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連に限っては、組み合わせのみとする

※県立病院以外の看護師も応募可

※応募が集中した際は、厳選な審査の上決定いたします

## 9 特定行為研修カリキュラム

### (1) 共通科目(必須科目)

科目名	研修方法	時間
臨床病態生理学	講義・演習	31 時間
臨床推論	講義・演習・実習	45 時間
フィジカルアセスメント	講義・演習・実習	45 時間
臨床薬理学	講義・演習	45 時間
疾病・臨床病態概論	講義・演習	41 時間
医療安全学/特定行為実践	講義・演習・実習	45 時間
合計		252 時間

### (2) 区分別科目(必須科目)

**術中麻酔管理領域** {パッケージ+呼吸器（人工呼吸療法に係るもの関連）}

区分名	特定行為	研修方法	時間数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	講義・演習 実習/OSCE	9 時間
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・侵襲的陽圧換気の設定の変更</li> <li>・非侵襲的陽圧換気の設定の変更</li> <li>・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整</li> <li>・人工呼吸器からの離脱</li> </ul>	講義 演習 実習	29 時間
動脈血液ガス分析関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接動脈穿刺法による採血</li> <li>・橈骨動脈ラインの確保</li> </ul>	講義・演習 実習/OSCE	13 時間
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液の補正	講義 演習・実習	11 時間
術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	講義 演習・実習	8 時間
循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	講義 演習・実習	12 時間

\*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する

\*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う

\*手技動画視聴後、模擬患者を用いて指導者による実演、観察評価を用いた手技トレーニングを行い、一部の特定行為については実技試験（OSCE）の実施

## 集中治療領域

{パッケージ+呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連+動脈血液ガス分析関連+循環動態に係る薬剤投与関連}

区分名	特定行為	研修方法	時間数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	講義・演習 実習/OSCE	9 時間
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・侵襲的陽圧換気の設定の変更</li> <li>・非侵襲的陽圧換気の設定の変更</li> <li>・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整</li> <li>・人工呼吸器からの離脱</li> </ul>	講義 演習 実習	29 時間
循環器関連	・一時的ペースメーカーの操作及び管理	講義 演習・実習	8 時間
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去	講義 演習・実習	7 時間
動脈血液ガス分析関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接動脈穿刺法による採血</li> <li>・橈骨動脈ラインの確保</li> </ul>	講義・演習 実習/OSCE	13 時間
循環動態に係る薬剤投与関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整</li> <li>・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整</li> <li>・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整</li> <li>・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整</li> <li>・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整</li> </ul>	講義 演習・実習	28 時間

\*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する

\*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う

\*手技動画視聴後、模擬患者を用いて指導者による実演、観察評価を用いた手技トレーニングを行い、一部の特定行為については実技試験（OSCE）の実施

呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、ろう孔管理関連の特定行為は、成人に加え、小児を対象とした講義、演習、実習を含む

### 在宅・慢性期領域パッケージ

区分名	特定行為	研修方法	時間数
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換	講義・実習 OSCE	8 時間
ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	講義・実習 (OSCE)	16 時間
創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	講義・実習 (OSCE)	26 時間
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正	講義・演習 実習	11 時間

\*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する

\*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う

\*手技動画視聴後、模擬患者を用いて指導者による実演、観察評価を用いた手技トレーニングを行い、一部の特定行為については実技試験（OSCE）の実施

### 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連

区分名	特定行為	研修方法	時間数
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	講義・実習 (OSCE)	8 時間

\*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する

\*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う

\*手技動画視聴後、模擬患者を用いて指導者による実演、観察評価を用いた手技トレーニングを行い、一部の特定行為については実技試験（OSCE）の実施

### ろう孔管理関連

区分名	特定行為	研修方法	時間数
ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・膀胱ろうカテーテルの交換	講義・実習 (OSCE)	22 時間



- \*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する
- \*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う
- \*手技動画視聴後、模擬患者を用いて指導者による実演、観察評価を用いた手技トレーニングを行い、一部の特定行為については実技試験（OSCE）の実施

#### 創傷管理関連 （\*栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連区分との組み合わせです）

区分名	特定行為	研修方法	時間数
創傷管理関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のな</li> <li>い壊死組織の除去</li> <li>・創傷に対する陰圧閉鎖療法</li> </ul>	講義・実習 (OSCE)	34 時間

- \*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する
- \*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う
- \*手技動画視聴後、模擬患者を用いて指導者による実演、観察評価を用いた手技トレーニングを行い、一部の特定行為については実技試験（OSCE）の実施

#### 動脈血液ガス分析関連

区分名	特定行為	研修方法	時間数
動脈血液ガス分析 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接動脈穿刺による採血</li> <li>・橈骨動脈ラインの確保</li> </ul>	講義・実習 (OSCE)	13 時間

- \*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する
- \*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う
- \*手技動画視聴後、模擬患者を用いて指導者による実演、観察評価を用いた手技トレーニングを行い、一部の特定行為については実技試験（OSCE）の実施

#### 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 （\*創傷管理関連区分との組み合わせ）

区分名	特定行為	研修方法	時間数
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整</li> <li>・脱水症状に対する輸液による補正</li> </ul>	講義・演習 実習	16 時間

- \*患者に対する実技を行う前には指導者と対面でペーパーシミュレーションによる演習を行う
- \*患者に対する実技については、各特定行為 5 症例以上を経験する

### (3) 研修スケジュール

#### ① 1年履修モデル：術中麻酔管理領域/集中治療領域

令和8年	4月	開講式 4月6日	オリエンテーション 科目ガイダンス等 共通科目 講義・演習・実習 評価（筆記試験、観察評価）
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		区分別科目 講義・演習・実習 評価（筆記試験、観察評価、実技試験）
	10月		
	11月		臨地実習
	12月		
令和9年	1月		
	2月		
	3月	修了式 3月19日	
			修了判定

研修受講期間：令和8年4月6日（月）－令和9年3月19日（金）

#### ② 8ヶ月履修モデル：在宅・慢性期領域パッケージ

：呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、ろう孔管理関連、動脈血液ガス分析関連、創傷管理関連+栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

令和8年	4月	開講式 4月6日	オリエンテーション 科目ガイダンス等 共通科目：講義・演習・実習 評価（筆記試験、観察評価）
	5月		
	6月		
	7月		区分別科目：講義・演習・実習 評価（筆記試験、観察評価、実技試験）
	8月		
	9月		臨地実習 修了判定
	10月		
	11月	終了日 11月30日	
	12月	12月25日 (動脈血液ガス析)	

研修受講期間：令和8年4月6日（月）－令和8年11月30日（月）12月25日（金）

\*修了式 令和9年3月19日（金）

## 10 修了要件

次の要件をすべて満たすこと

- (1) 共通科目をすべて履修し、筆記試験、一部の科目については観察評価に合格する事
- (2) 区分別科目をすべて履修し、筆記試験、観察評価、一部の科目については実技試験に合格後、患者に対する実技を特定行為毎に5症例以上行う。観察評価を行い、最終症例までには「指導監督なしで行う事ができる」レベルと判定されること

## 11 研修期間

原則1年(12ヶ月)とし、在籍期間は、2年(24ヶ月)を限度とする。

募集期間は1回/年(4月開講)

## 12 研修受講資格

受講申請するにあたり、次に定める要件を満たしていることとする。

- (1) 日本国内における看護師免許証を有していること
- (2) 看護師資格取得後、実務経験を概ね5年以上有していること  
(ただし、准看護師としての実務経験は除く)
- (3) キャリア開発ラダー：臨床看護実践能力レベルⅢ以上が望ましい
- (4) 所属長からの推薦が得られること
- (5) 看護職賠償責任保険制度に加入していること

## 13 履修科目の免除について

他の特定行為研修指定機関において、既に履修した科目の読み替えは沖縄県立南部医療センター・こども医療センター研修管理委員会で審査し決定します。詳細については、受講願書提出後、ご連絡します。

## 14 出願手続きに関する事

- (1) 出願期間：令和8年1月5日(月)～令和8年1月23日(金) 当日消印有効

### 出願書類：

『看護師特定行為研修』から必要書類をダウンロードできます。(様式1～様式5)

南部医療センター・こども医療センター ホームページ

(URL：<http://nanbuweb.hosp.pref.okinawa.jp>)

- 受講願書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式1)
- 履歴書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式2) 証明写真 撮影2か月以内
- 志願理由書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式3)
- 推薦書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式4)
- 既修得科目等履修免除申請書・・・・・・・・・・ (様式5)

添付：① 特定行為研修修了証の写し ② 特定行為研修・実習内容に関する証明書

- 勤務証明書
  - \* 就業年数が確認できる証明書とする
  - \* 沖縄県立病院勤務職員：病院事業局よりの証明書発行とする。
  - 民間、沖縄県立病院以外の場合は、勤務先から取り寄せること
- 看護職賠償責任保険制度の加入証明書（写）
  - \* 振込明細の写し及び、保険保障期間が確認できる写しとする
- 看護師免許（写し、A 4 サイズ）
- 本人写真（履歴書と同様）1 枚 \* 受験票へ使用

(1) 提出先

〒901-1193

沖縄県島尻郡南風原町字新川 118-1 番地

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

看護師特定行為研修事務局「キャリア開発支援室」宛

※「簡易書留」での送付 あるいは、直接持参ください。

※提出した出願書類は返却いたしません。（個人情報の取り扱いについては、p-12 参照）

(2) 審査料：11,000 円

受講審査料振込期間

令和 8 年 1 月 5 日（月）～令和 8 年 1 月 23 日（金）までに下記の方法で指定口座にお振り込みください。

(3) 振込方法

- ① 「各金融機関備付の振込依頼書」による振込
- ② 「ATM（現金自動預払機）」による振込

「依頼人」の項は、出願者本人の氏名を記入または入力必須

\* 納付後、領収の写しを 8 年 2 月 6 日（金）試験当日、受付へ提出してください

\* 振込手数料については、志願者本人の負担となります。

\* 納入金は原則として返還いたしません。（現金の持参による納入はできません）

<振込先>

銀行名	琉球銀行（0187）
支店名 ・ 口座種類	首里支店（313） 普通口座
口座番号	522050
口座名義（カナ）	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 企業出納員 稲嶺 秀樹 （オキナワケンリツナンブイリョウセンター・コドモイリョウセンター キギョウスイトウイン イナミネヒデキ）

## 15 選考方法

書類審査・筆記試験（基礎知識）・面接

## 16 試験会場と日程

- (1) 試験会場：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

2階 特定行為研修室

\*筆記試験終了後に、面接時間割についてご案内します。

- (2) 日程：令和8年2月 6日（金）

- (3) 時間割

試験科目	試験時間
受付 特定行為研修室	12時30分～12時50分
オリエンテーション（5分）	12時50分～13時00分
筆記試験	13時00分～14時00分
休憩・移動	14時00分～14時15分
面接試験（各会場にて）	14時15分～ 終了後随時解散

- (4) 試験に持参するもの

- ① 受験票（出願書類の受領後、順次、本人宛送付いたします）
- ② 筆記用具
- ③ マスク
- ④

## 17 選考結果

選考結果は、令和8年3月中旬に受験者本人へ受講通知決定書を郵送いたします。

\*電話・FAX等での可否のお問い合わせは、お答えいたしかねますのでご了承ください。

## 18 特定行為研修手続きと費用に関すること

受講予定者には、受講案内手続きについての詳細をご案内します。

- 1) 納付金について

納付金手続き期間：令和8年4月6日（月）～令和8年4月30日（木）

募集区分	研修受講費
共通科目	380,000
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	50,000
ろう孔管理関連	90,000
創傷管理関連+栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	150,000
動脈血液ガス分析	60,000
術中麻酔管理領域パッケージ	270,000
集中治療領域パッケージ	350,000
在宅・慢性期パッケージ	265,000

\*納めた研修費は原則返却不可

\*振込手数料は各自でご負担をお願いいたします。

## 19 個人情報の取り扱いについて

沖縄県立南部医療センター・こども医療センターでは、沖縄県病院事業「沖縄県における個人情報保護条例」を遵守し個人的情報の適正な取り扱いに努めます。

出願及び受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に本人の承諾なしに第三者へ開示・提示することはありません。

## 20 書類・試験に関する問い合わせについて

<送付の場合>

〒901-1193

沖縄県島尻郡南風原町字新川 118-1

沖縄県立 南部医療センター・こども医療センター

看護特定行為研修事務局「キャリア開発支援室」宛

<問い合わせ先>

沖縄県立 南部医療センター・こども医療センター

看護師特定行為研修事務局「キャリア開発支援室」

Email: nanbu\_tokutei@hosp.pref.okinawa.jp

電話：098-888-0123（代表）

研修担当 内線：8572